

質疑 農林水産業費の青年就農給付金の事業内容は。

答弁 45歳未満で農業を新規に始められる方の育成、確保と雇用創出を目的に150万円を支給する事業である。

質疑 商工費の中心市街地活性化事業補助金の補助内容は。

答弁 「はいつて小屋」の経費等と毎月、一回程度イベントを開催する予定であり、その経費及びイベントの企画、運営に携わる人件費である。

質疑 土木費の橋梁耐震事業について、耐震化工事に併せて、橋の景観を考慮した工事はできないか。

答弁 国の補助事業として、橋梁の長寿命化工事に併せ同時に、耐震化工事を実施しており、景観工事は、現在計画していない。

質疑 教育費の教育相談員と学校支援員の配置と勤務時間はどのようになっているのか。

答弁 教育相談員は、濃南地区の小学校を除き13名配置し1日6時間、学校支援員は、23名で1日5時間配置する。

質疑 公民館長の報酬について、年額13万円から18万円に増額した理由は。

答弁 公民館長は、各町の諸行事に指導的かつ中心的役割を担っており、現在の報酬を検討し、増額した。

質疑 文化芸術品の購入について、ど

のような物を購入するのか。

答弁 美術作家連盟の優秀作品、近現代の陶磁資料、土岐市陶芸協会の優秀作品等の購入を予定している。

質疑 学校給食アレルギー対応等検討委員会は、どのような委員構成であるか。

答弁 委員会のメンバーは、専門医、医師会、薬剤師会、PTA、学校関係者、養護教諭、給食主任からなり、10名で構成している。

☆平成24年度土岐市下水道事業特別会計予算

質疑 下水道施設調査について、その調査内容は。

答弁 雨水等が下水道管に流入している場合があり、流入量が多い箇所を特定し、補修するための調査である。

☆平成24年度土岐市自動車駐車場事業特別会計予算

質疑 料金改定により、駐車料金が安くなることで、利用者が増えると思込んでいるのか。

答弁 駅前、駅西駐車場は、2時間無料になることで、利用者が増加し、駅前に活気が戻ればと考えている。

☆平成24年度土岐市農業集落排水事業特別会計予算

質疑 農業集落排水の使用件数と水洗化率は。

答弁 平成22年度末時点で、処理人口639人に対し314人で、水洗化率は、49・1%である。

☆平成24年度土岐市水道事業会計予算

質疑 耐震管への布設替えを行っているが、現在の耐震化率と平成24年度の耐震に関する取り組みについて。

答弁 22年度末現在の本管の耐震化率は、28・3%である。また、平成24年度に病院や避難所等災害時の拠点となる施設等への重要路線を優先して耐震化していくための管路耐震化計画の策定を予定している。

☆平成23年度土岐市一般会計補正予算(6号) 所管部分

質疑 西陵中学校屋内運動場大規模改造事業について、どのような工事を実施するのか。

答弁 屋根及び外壁の塗装、内壁の改修、飛散防止のためガラスにフィルムを貼り、また、玄関、出入口のバリアフリー化等を実施する。

☆土岐市営住宅管理条例の一部を改正する条例について

質疑 暴力団員ではないことと規定しているがどのように調査するのか。

答弁 入居前に、申込者から暴力団員ではないことを警察に照会する了承を得て確認をする。

第一常任委員会

☆平成24年度土岐市一般会計予算所管部分

質疑 個人市民税の年少扶養控除が廃止されることによる影響額は。

答弁 税額への影響額としては、約一億円を見込んでいる。

質疑 固定資産税は、評価替による減収を見込んでいるが、どのような状況か。

答弁 土地は2・2%程の減、建物は、再建築費補正率が下落すること等により、評価が下がるため10・2パーセント程の減を見込んでいる。

質疑 電源立地地域対策交付金は、どのような事業に使われ、総額はいくらか。

答弁 消防署、保育園、環境センター、給食センターの人件費に充てており、総額で3億5千2百万円を見込んでいる。

質疑 分担金及び負担金の恵風荘自己負担金について、減収を見込んでいるがその理由は。

答弁 老人ホーム委託費用の徴収基準により、入所者の収入によって費用負担が決まる。入所人数に変わりはなく、費用負担額の変動で減収となる。

質疑 使用料及び手数料の保育所私的

契約児童使用料について、利用者を3人から5人に増やしているが実績で見込んでいるのか。

【答弁】 実際に申込みのあった実数で計上しており、4歳児が2人、3歳児が3人である。

【質疑】 総務費の定住促進奨励金について、実家等住宅のリフォームや増改築は、対象とならないか。

【答弁】 土岐市へ転入された方が、新築及び中古住宅を取得し、その所有権が2分の1以上の場合が対象となる。

【質疑】 コンビニ収納業務について、どのように実施する予定なのか。

【答弁】 平成24年度に軽自動車税を先行して実施し、平成25年度から個人市民税と固定資産税の実施を予定している。

【質疑】 民生費の自立支援費について、ひだ作業所等、新体系に移行した場合、利用者負担はどうなるのか。

【答弁】 新体系に移行した場合でも、現在の利用者の負担が増えることはない。

【質疑】 恵風荘施設管理委託料について、調理業務を委託することとした経緯は。

【答弁】 調理業務を直営と委託で比較検討し、委託することで、経費削減が図れると判断した。

【質疑】 病後児保育を東濃厚生病院において実施することであるが、事業の概要について。

【答弁】 看護師のいる施設であれば、保育が可能と医師から診断を受けた子どもに対し、東濃厚生病院で1日2名の枠を確保し実施する。利用者負担は、1日2千円である。

【質疑】 生活保護費のうち医療扶助受給者の全体に占める割合は。

【答弁】 疾病による就労困難が生活保護になる主な要因であり、生活保護受給者の殆どが医療扶助を受けている。

【質疑】 衛生費の妊婦健診について、健診の項目が増えるとのことであるがその内容は。

【答弁】 超音波検診を1回から4回に、貧血・血糖検査等を新たに追加した。

【質疑】 消防費の共助・公助用資機材整備について、どのような物を購入するのか。

【答弁】 災害発生時に必要となる資機材や、消防訓練用消火栓や動力ポンプを購入する予定である。

【質疑】 教育費の私立幼稚園就園奨励費補助金について、この制度を実施するに至った経緯は。

【答弁】 以前から、制度に関する問い合わせがあったこと。また、3・4歳児の幼稚園での受入れを開始したが、定員を超えての申込みもあり、この制度を新たに実施することとした。

【討論】 職員を削減し、臨時職員に切り

替えているが、市民サービスをしっかりと提供できるのか不安である。また、電源立地地域対策交付金を、人件費に充てることは、納得がいかないので反対する。

☆平成24年度土岐市国民健康保険特別会計予算

【質疑】 国の療養給付費負担金が減額されるが、減額分はどのように調整されるのか。

【答弁】 療養給付費負担金の減額分は、県の財政調整交付金で賄われる。

【討論】 今回、保険料が全体で3・2%増となり、加入者の負担が増えることになる。少しでも負担を減らす方策を考える必要がある、この予算には反対する。

☆平成24年度土岐市介護保険特別会計予算

【質疑】 介護保険事業の負担割合は、どのように変更されるのか。

【答弁】 国の負担が0・5%、県と市が0・25%下がり、一号被保険料が1%上がった。

【討論】 国からの事業に対する負担が減ったことにより、一号被保険者に負担がかかる。これ以上の保険料の負担は、介護サービス利用料と合わせ無理があるためこの予算には反対する。

☆平成24年度土岐市・瑞浪市障害者自

立支援認定審査会特別会計予算

【質疑】 介護認定審査会と障害者自立支援認定審査会で委員は重複していないか。

【答弁】 医師、看護師等として同じ職種の委員がいるが、兼務はしていない

☆平成24年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計予算

【質疑】 保険料の負担率を4%に引上げた要因は。

【答弁】 執行部から、一人当たりの医療費を5%増で見込んでいる。前回保険料率を据え置いたことで、引上げる必要が生じた。

【討論】 保険料を払うことができず、滞納者も増え、制度自体に問題がある。さらに、今回保険料を引き上げることには納得できないためこの予算には反対する。

☆平成24年度土岐市病院事業会計予算

【質疑】 一般会計から11億3千7百60万5千円を繰入れる予定であるが、繰入金の上限基準はあるのか。

【答弁】 繰入が出来る項目としては、救急医療業務、保健衛生業務、高度医療、建設改良等であるが、上限基準はない。

☆平成24年度土岐市一般会計補正予算(第6号) 所管部分

【質疑】 後期高齢者医療保険特別会計基盤安定繰出金について、低所得者世帯

への手当が必要なための補正であるが、県と市の負担割合はどのようになっているのか。

【答弁】 県が4分の3、市が4分の1の負担割合である。

☆平成23年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

【質疑】 財政調整交付金が交付されないため、基金から繰り入れるとのことであるが、基金の残高はどの位になるのか。

【答弁】 当初予算で、5千万円、今回1億5千万円の合計2億円を繰り入れることで、基金の残高は2億円になる

☆平成23年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第2号）

【質疑】 介護給付費準備基金は、今回積立てることによって残高はどの位になるのか。

【答弁】 予算上では、約1億3千8百60万円の見込みである。

☆平成23年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）

【質疑】 普通徴収保険料の収納率が予定より上回ったとのことであるが、何パーセントになったのか。

【答弁】 当初96%を見込んでいたが、97.5%となった。

☆土岐市職員定数条例の一部を改正する条例について

【質疑】 職員定数は、現状の職員数に合わせるのか。

【答弁】 一般部局については、24年度当初の職員数である。病院関係については、総合病院改革プランによるものである。

【討論】 定数を削減し、職員を臨時職員に切り替えたりしているが、よりよい市民サービスを提供できるのか不安であり、この条例には反対する。

☆土岐市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

【質疑】 行政職二表の適用となる技能労務職は何人いるのか。

【答弁】 23年度当初で、環境センター、衛生センター、保育園の調理員、総合病院等に合計95人いる。

☆土岐市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

【質疑】 今回の改正による影響額とその人数は。

【答弁】 40歳代後半以上の給料月額で15円から1万円の影響があり、31人が対象となる。

【討論】 子育てに大変な40歳代後半以上の世代の待遇が悪くなるのは不公平であり、この条例には反対する。

☆土岐市情報公開・個人情報保護審査会条例について

【質疑】 情報公開と個人情報の保護という相反することを同じ審査会で、審査することができるのか。

【答弁】 情報公開と個人情報の保護は密接に関連する。個人情報を守って行政の持つ情報を公開するための審査会であり相反するものではない。

☆土岐市税条例の一部を改正する条例について

【質疑】 どのような目的で均等割を加算するのか。

【答弁】 地方公共団体が実施する防災施策に要する財源確保が目的である。

【討論】 大震災で大変な状況であるが、その負担を市民にさせるのは少し問題であり、この条例には反対する。

☆土岐市介護保険条例の一部を改正する条例について

【討論】 保険料の改定により、少しでも負担を減らすため特例措置を設けているが、特例を設けなければならない程、今回の保険料の改定は大きいということであるためこの条例には反対する。

☆土岐市立幼稚園条例の一部を改正する条例について

【質疑】 預かり保育の保育料について7月、8月を加算する理由は。

【答弁】 夏休みは、8時から17時50分までの受入れであり、保育士を配置する必要があるためである。

☆土岐市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

【質疑】 県からの権限移譲によるものであるが、職員の対応に問題はないか。

【答弁】 事務量を勘案し、職員を2名増員し、日々雇用職員も1名採用する予定である。

☆「社会保障と税の一体改革」に反対し、暮らしにかかる消費税の減税に関する請願

【意見】 消費税は、所得の低い人ほど、負担が重くなり、社会保障の財源にふさわしくない。企業が社会的責任を果たすべきであり、採択したい。

【意見】 財源を確保し社会保障等を確立しなければならぬ。財源を確保しなければ今後地方自治体も破綻してしまう。財源について明確でないこの請願は、不採択したい。

